BMS 12月例会のご案内

—132th Bungeiken Metropolis Seminar—

2026年12月6日(日)9時30分～12時30分

大東文化会館401研修室　東武東上線「東武練馬」駅より歩4分

オンライン参加可

テーマ①：新(ニューウエイブ)平和教材「たずねびと」

(朽木祥　光村図書出版5年)の授業報告

戦争体験作家による「ちいちゃんのかげおくり」「一つの花」「川とノリオ」の定番平和教材の価値は現在も色褪せませんが、戦後８１年が経過し、教師も子どもたちにとっても戦争は遠い昔の話になった今、子どもたちに実感的に文芸体験をくぐらせ、戦争認識と人間の真実を学ばせるにはどうすればいいか。新(ニューウエイブ)平和教材の授業報告から追究したいと思います。皆様の参加をお待ちしています。

報告：西真由子さん(東京文芸研　湘南学園小学校)

テーマ②：3学期詩教材(光村版)の授業のポイント

～詩は目で楽しみ、声に出して楽しみ、心で味わう～

1年「かたつむりのゆめ」「おいわい」　2年「ねこのこ」「おとのはなびら」「はんたいことば」
3年「かたつむり」「ことばだいすき」「あした」「たいこ」「なみ」「かいだん」
4年「まんげつ」「月」「上弦の月」
5年「蛇」「するめ」「土」「ゆうぐれの松林」「一ばんみじかい抒事詩」「風をみた人はいなかった」
6年「ぽくぽく」「動物たちの恐ろしい夢のなかに」「うぐいす」「生きる」

報告・資料提供：上西信夫(東京文芸研　元千葉県小学校)

参加申込(ハイブリッド方式)現地参加は先着40名とさせていただきます。

申し込みについては、現地参加の方も下記ピーティックスからの申し込みをお願いします。
現地参加・オンライン参加とも５００円

参加申し込みは　https://bms202612-bungei-tokyo.peatix.com/　から
（一週間前には申し込みができるように準備をします。）

文芸研東京学習会（BMS）連絡先】上西信夫　✉→nobu.uenishi@outlook.jp

次頁　信天翁(アホウドリ)通信 ↓

国語ヤバイよ！～ものの見方・考え方を育てる国語の授業～　2026/11/05　信天翁（アホウドリ）記

東京文芸研学習会（BMS12月例会）のご案内

—132th　Bungeiken　Metropolis　Seminar—



蓼科高原の紅葉

11月1日（日）は、八木重吉が好きだったという秋の青空と一条の白雲の空。校務等の関係で参加者はいつもより少なかったのですが、BMS11月例会を大東文化会館＋オンラインで実施しました。

今回のテーマは、**12月・1月の民話教材の授業のポイント～確かさをふまえた豊かで深い読み～**として「**たぬきの糸車**」「**かさこじぞう**」を**上西**（東京文芸研　元千葉県小学校）が、「**三年とうげ**」を**山中吾郎**さん（東京文芸研　大東文化大学）が報告しました。「たぬきの糸車」「かさこじぞう」の授業のポイントは、語り手・人物の因果応報の恩返し譚の表層の読みで終わらず、他の文芸作品と同様に形象の相関・全一性を読むことで、そこに描かれた人間の真実を美として読者が体験・認識することの重要性が確認できました。教科書には軟（やわ）な民話が多いのですが、《つづけよみ》として働く民衆の思想・感情が強くこめられたものや、権力・権威に対して、何らかの形で抵抗し、批判し、笑い飛ばし、闘いを挑む人間を描いた民話教材の授業化への展望も話し合われました。語りの文芸（口承文芸）として人物像を彩る声喩（オノマトペ）が豊かな作品、反復（《類比》）と《対比》でイメージと意味が強調された良質の作品の紹介（「力太郎」「さるかにばなし」「茂吉のねこ」「木竜うるし」の資料提供と在庫一掃セールの観）も。

朝鮮・韓国民話と言われている「三年とうげ」は、そもそも朝鮮半島の民話なのかとい

う疑問から始まり、そのことを差し引いても「三年とうげ」のおもしろさは何か、おじいさんとトルトリの人物評価、「こかげにごろり」（金森襄作再話／福音館書店　前東京書籍３年教科書掲載）との比較に話題が及びました。２報告により語りの文芸（口承文芸）の民話教材の特質、ことばの確かさをふまえ、美と真実を求める読みの授業づくりの在り方の学習を深めることができました。

🌰１２月例会も大東文化会館にてハイブリッド方式で行いますが、リアル参加は**先着 40 名**とさせていただきます。申し込みについては、リアル参加の方もオンライン参加の方も下記ピーティックスからの申し込みをお願いします。皆様の参加をお待ちしています。

記

1．期　日　　２０２６年１２月６日（日）９時 30 分～１２時 30 分

2．会　場　　**大東文化会館４０１研修室**
（東武東上線「池袋」駅より各駅停車で 15 分、「東武練馬」駅下車歩４分
ハイブリッド方式　**オンライン参加可**

3．内　容　　テーマ：新（ニューウエイブ）　平和教材「たずねびと」（朽木祥　光村図書出版５年）授業報告

報告①：**西真由子**さん（東京文芸研　湘南学園小学校）

報告②：光村版３学期全**詩教材**指導のポイント
報告・資料提供：**上西信夫**（東京文芸研　元千葉県小学校）

4．主催・参加費・申し込み　東京文芸研／リアル参加・オンライン参加とも 500 円

参加申し込みは　https://bms202612-bungei-tokyo.peatix.com/　から

（一週間前には申し込みができるように準備をします。問い合わせ　事務局・西さん）

以上

🌰例会後、例会で扱う教材以外の個別の相談にも応じています。事前に連絡をください。カンとセンスとブームの国語の授業からの脱却、教科書会社の指導書・赤刷り・ワークシートに頼らない授業構想力の獲得――視点・形象の相関をふまえた切実な共体験の形成、文芸体験の思想化・典型化の授業づくりをめざします。23 年夏の山口大会、24 年の徳島大会、25 年の千葉大会、今夏の大阪大会、各地の「国語の教室」、講座で初めて文芸研

の理論と実践に接し興味をもたれた方、国語の授業づくりに困っている方、深い学びをと願っている方、教職をめざしている方、元青年学校受講生の方、各地のサークル例会が開催困難なサークル会員の方々……の参加をお待ちしています。

インフォメーション

▼今年度後半の BMS 例会予定（原則第１日曜日）９時 30 分～12 時 30 分　大東文化会館（最寄り駅は東武東上線「東武練馬」駅、歩４分）

・12 月６日（日）大東文化会館 401　　・1 月 10 日（日）大東文化会館 401
・2 月 14 日（日）大東文化会館 404　　・3 月７日（日）大東文化会館 404

※期日・会場は予定です。直前の HP 掲載の BMS 例会案内で確かめてください。

▼BMS１２月例会　12 月６日（日）９時 30 分～12 時 30 分　大東文化会館／テーマ：①「たずねびと」授業報告　西真由子さん　②３学期詩教材指導のポイント　上西

▼全教千葉・松教組合同県教研　11 月 14 日（土）10 時～16 時　松戸市立牧野原小学校　午前中講演：荻上チキさん　午後：分科会　国語分科会で秋山亮介さんレポート

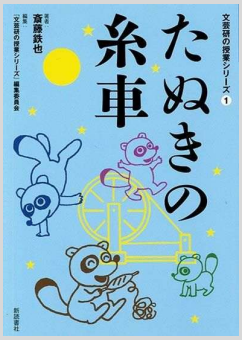
▼明星学園公開研究会　11 月 21 日（土）８時 45 分～16 時 30 分　詳細は明星学園小学校 HP をご覧ください。

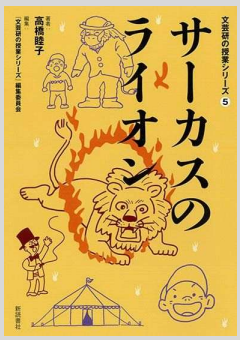
▼創立 40 周年記念**聖徳大学附属小学校公開研究会**　11 月 14 日（土）９時 30 分～13 時 30 分　聖徳大附属小学校（松戸市秋山 600）　HP に公開研内容・申し込み案内掲載

▽**「文芸教育」**（西郷竹彦創刊・文芸研編・新読書社刊）**139 号**　好評発売中　**特集「『こなす』だけの授業をのりこえる―真に深い学びを求めて―」／140 号**　11 月刊行予定　**特集「子どもたちが語り合う国語の授業」**各号 1700 円＋税　バックナンバーあります。年間購読をお願いします。

▽**光村版・新教科書指導ハンドブック**（学年別）発売中／新読書社より各学年 1700 円＋税　セット割引有／この学年でどんな〈ものの見方・考え方〉を育てるかの観点で編集

▽**文芸研授業シリーズ**好評刊行中！　第１弾**「たぬきの糸車」**（新読書社）・第２弾**「一つの花」**・第３弾**「おおきなかぶ」**・第４弾**「わらぐつの中の神様」**・第５弾**新刊「サーカスのライオン」**／教材分析と授業構想・授業記録がこの一冊に。板書や発問が参考にできて、使いやすい・わかりやすいと好評。入門書として最適です。各 1000 円＋税





文芸研授業シリーズ　新読書社刊　　1000 円



「文芸教育」新読書社刊 1700 円

BMS 会場案内





大東文化会館へのアクセス：池袋駅より**東武東上線各停**で７駅（約 15 分）、**東武練馬駅**（大東文化大学前）下車。どの出口からも徒歩 2～4 分／学習会会場は **K404・401** 研修室 （40 人収容）、９時から 13 時まで借りています。（山中吾郎さんに尽力いただき、３月７日まで予約済み。）今から予定に入れてください。エデュカス東京（麹町）より大東文化会館までの所要時間がかかる方もいると思いますが、学習会充実のため引き続き現地参加にご協力ください。

「朝日歌壇・俳壇」より　～子ども・学校・ことば・世相・酒・戦争を詠む～

スーパーで種無し巨峰に見つめられ私の気持ちも決まってカゴへ（富山／松田わこ）
本の中ねこがいっぴきやってきて「道教えて」とぼくに言うんだ（名護／佐藤健太郎）
生物の授業の終わりのチャイム鳴るいちばん眠気が覚める（奈良／山添葵）
お姉ちゃんに身長一ミリ勝ちましたハ月六日は下剋上記念日（奈良／山添聡介）
好物がズッキーニなんて驚いたまだまだ知らないことがありそう（富山／松田梨子）
いつにしか日常となるクマ鈴の音ひびかせる登校の子ら（仙台／沼沢修）
「ずっとずっとさびしかった」一行の亡き娘の日記の最後のページ（市川／山崎蓉子）
☆締切なき未来もつ子に向き合いたい職員室の書類の山より（高松／中村将人）
どの家も子どもは宝朝の風三十五万の児らの不登校（佐伯／川西敦子）
白無垢を纏（まと）う娘に靴下を「つくした」と言いし日々よみがえる（アメリカ／細江さくら）エレベーター→エベレーター　おくすり→おすくり　おるすばん→おするばん…。さんざか→さざんか　したつづみ→したづつみ　あらたし→あたらしい　と音位転換が定着した言葉もある
新しき学び舎はみな地下にありキーウの生徒は未来を学ぶ（札幌／橘晃弘）
用あって近くに行くから食事しない？　息子に会うため用探してる（さいたま／萩谷則子）
かなしくてぼくの母さん言ふ孫ハグして泣いた保母さん（流山／角田勇）
満月に二歳の孫と風呂に入り一緒にねむるはじめての夜（東久留米／白井澄江）

注文はタブレット、調理配膳はロボット、支払ひスマホのファミレス（長久手／佐藤昌江）
戦争と差別なき世は来るのかと問うな「来る」ではない「作る」のだ（朝霞／岩部博道）
土石流、豪雨、渇水この星を変えてきたのはヒトしかいない（観音寺／篠原俊則）
また一つ会話の減りてぽつねんと玄関先に置き配がある（焼津／増田謙一郎）
イコールアース図法であればトランプはグリーンランドを見過ごしただろう（本巣／青木鈴子）
公園のふららこに掛け聴いている枯れ葉にあたる日照雨（そばえ）の音を（東大阪／池中健一）
〈ふららこ〉はブランコの古語「ふらここ」とも。〈そばえ〉はお天気雨「戯え」とも書く
御みこしも太鼓も笛も担ぎ手もトラックで巡る過疎地の祭（石川県／瀧上裕幸）
震災に残りたる本も本棚も残らず水は攫ってゆきぬ（羽咋／北野みや子）
干あがりて詩にたる魚（うお）のごとくあり一度浸かれば動かぬ車（生駒／高橋裕樹）
めちゃくちゃという言いまわしいつよりか増えてテレビの中にはびこる（横浜／安中司郎）
赤子泣くいのちの汗を吹き出して（西海／前田一草）大串章氏最後の選句
良寛のトメハネハラヒとんぼ飛ぶ（横浜／生田康夫）良寛の書は自由自在
自民党に投票すれば七十万あげると言えばさてどうします？（東京都／北條忠政）中間選挙対策でなりふり構わぬトランプを笑うことができるかと問う
既往症はあれやこれやと挙げたけど書き忘れてた健忘症を（金沢／西田正彰）
知ることの喜びを知り知る前に戻れぬことの悲しみを知る（筑後／近藤史紀）
今日の日は数多の人の誕生日数多の人の忌日でもあり（千曲／米沢光人）先の歌も永田和宏選は相補的な歌がふくまれる
セルフレジの自動音声せはしなくあつといふ間にお札呑み込む（藤岡／松原千矢子）「オカネヲイレテクダサイ。オカネヲイレテクダサイ。」とうるさい。「ハイハイ」と機械に話しながら急ぐ客あり
「我の過去知ってる人は死んで欲し」そういう人が首相でいる国（高崎／横山房子）
被爆死の姉の花野へ張さん発つ（小平／野口佐稔）
喝といふその一声の露けしや（長野／懸展子）
鳩尾（みぞおち）を突いて身にし入（し）む訃報かな（志木／谷村康志）朝日俳壇選者の大串章氏の訃報
ワイパーが小雨払えば前方に遍路の笠の列つづきおり（橋本／秋月晶江）クマ被害のあった高野参詣道・黒河道でのことか
地上波の放送が無くホークスの優勝の夜も静かな我が家（中津／荒谷みほ）地上波でのプロ野球中継がめっきり減った。我がホークスＶ３おめでとう！　２年前のリベンジ、ベイスターズとの日本シリーズだ
ソフトクリームならばコーンにさしかかるあたりだろうか三十五歳（横浜／富尾大地）
絵の前に人は誰もが言葉なく無言館に満つ深き沈黙（名古屋／磯前睦子）
甘いぞなもし、食べてみてやんなはい　走りの柿を供ふる子規忌（松山／三島誠以知）子規忌９月１９日、柿が好物だった子規に伊予弁で語りかける。有名な〈柿食えば鐘がなるなり法隆寺〉は漱石の〈鐘つけば銀杏ちるなり建長寺〉への返句
北半球うつすらホコリかぶりをる実家の地球儀雑巾で拭く（松戸／河野真南）埃がたまるのはいつも北半球。些細なことだがこういう気づきが歌を立ち上がらせる。言うまでもなく世界情勢を考えさせると評

酒酔いの米軍ジープに殺されし父亡くなりて七十四年（福岡／室智恵美）朝鮮戦争のころ

トランプの娘婿とう枕詞つけて呼ばれるクシュナー氏はも（大阪／澤田桂子）

浸水の稲田六反刈り捨つる（羽咋／北野みや子）能登地震に洪水被害に見舞われた作者の歌・句の投稿続く

どくどくと男なき夜は新酒かな（豊島区／木下風民）

古里を齢（にれか）む夜半（よわ）の温（ぬく）め酒（矢板／菊地壽一）齢むは反芻すること

ああやはり一番旨（うま）い温め酒（青梅／増田正）陰暦９月９日からは酒は温めて飲むものとされていた

十年を生きて切られし籐（とう）のつる籠に編まれて百年を生く（岡崎／兼松正直）

ふと散歩がてら立ち寄り平積みをめくる楽しみ消えて八年（中津／瀬口美子）ピーク時の２０００年頃から書店の６割が姿を消した。最寄り駅の書店２軒も閉店し、100 円ショップとワインショップに

七光りなし運もなしコネもなしピーマンに肉詰めて夕刻（新潟／太田千鶴子）不運を嘆いているのではない、日常に幸せを感じているのだ

家具を捨て本棚を捨て本を捨て濡れ畳四十六枚を捨つ（羽咋／北野みや子）

☆チャップリンに演（や）らせたかったトランプを儚（はかな）きことをわれは思えり（君津／内川英夫）ヒトラーを嘲り批判したチャップリンなら

夜汽車にて修学旅行は東京へ米一合をバッグに入れて（鳥取／山本憲二郎）私も臨海学校や修学旅行に米持参の時代に生きた。新幹線はまだなく夜汽車で品川ー橋本（和歌山線）を往復

戦争は悠々と来る、道々に「自衛だから」の罠を仕掛けて（東京都／十亀弘史）

レンコンの穴は十個と知りてより必ず数ふ店に出合へば（仙台／磯田秀子）真ん中の小さな穴の周りに９個の穴のレンコンが多いとか。岩国レンコンは 11 個の穴で珍しい

「おっしゃるほどいい仕事でもないですよ」花屋は翌週取り壊された（東京都／上田結香）ケーキ屋さんと花屋さんは女の子に人気の職業だが…

台風が四国を逸れて安堵するどこかの土地を直撃するのに（観音寺／篠原俊則）

妻逝きて片翼飛行ちちろ鳴く（岡山／宮下哲朗）ちちろコオロギの古語

枝豆や大串章終（つい）の選（さいたま／関根道豊）１０月１日８８歳で逝去した大串章氏を悼む句。１０月４日付朝日俳壇での絶選――枝豆は女将のおごり誕生日（諫早／後藤耕平）のこと

然るべき人へノーベル平和賞（横浜／三玉一郎）あの王様ではなくナビ・ピレイさんに

信天翁（アホウドリ）の身辺雑感

🐟サイラ？　京大 ips 細胞研究所（Cira）のことではない。紀伊山地の私の田舎ではサンマの開きのことをサイラと呼んでいた。サンマの季節、新宮市出身の佐藤春夫の「秋刀魚の歌」の塩焼きやサンマ寿司は有名だが、私にとってのサンマの味は味醂干しの甘いサイラである。魚が苦手の私が食べることのできた数少ない魚の一つだった。姉さん被りで着物に割烹着を着た祖母（養母）が「かんてき」で焼いてくれた。祖母が亡くなった年齢を過ぎたからだろうか、「こうつと」という言い回しも不意に思い出した。

祖母　三好達治

祖母は蛍をかきあつめて
桃の実のように合わせた掌の中から
沢山な蛍をくれるのだ
祖母は光をかきあつめて
桃の実のように合わせた掌の中から
沢山な光をくれるのだ

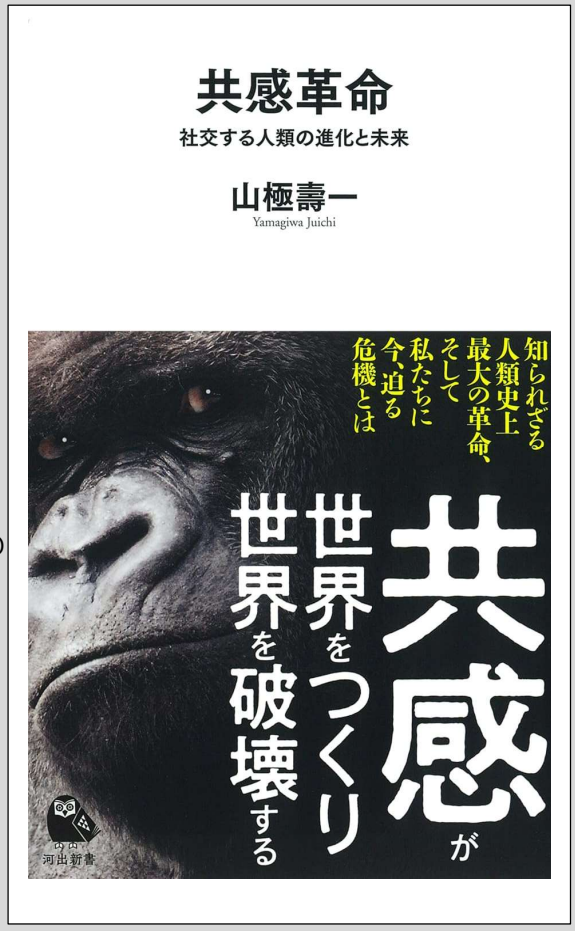
（三好達治「少年少女のための日本名詩選⑫」あすなろう書房）

何かを始めるとき言っていた記憶がある。「それはそうと」「さて」というニュアンスだと思う。無事を祈って伽藍の明神様と御影堂にお参りすることを日課とし、地蔵菩薩の縁日である８月 24 日に因んで、毎月 24 日は町外れの「お助け地蔵」に願掛けに出かけた信心深い祖母であった。三好達治の詩「祖母」の祖母像＝慈母のイメージと重なる愛おしい祖母である。

♫ぎんぎんぎらぎら　夕日がしずむ
　ぎんぎんぎらぎら　日がしずむ
　まっかっかっか　空の雲（さるのけつ）　（子どもの頃の替え歌）
　みんなのお顔（おしり）も　まっかっか
　ぎんぎんぎらぎら　日がしずむ　　（葛原しげる作詞　室崎琴月作曲）

秋の日の夕方、夕日で長く伸びた影を見ていると、鉄人 28 号のような巨人に変身した気分になったことを思い出す。友達と影を見ながらいろんなポーズをしたもんだ。でも、なぜ「きんきんきらきら」ではなく、〈ぎんぎんぎらぎら〉なんだろう。

先月の通信で山極寿一さんの「**ぼくたちは、あらそうために生きるのか？**」を紹介したが、その後、山極さんの本を何冊か《つづけよみ》した。その中で「**共感革命―社交する人類の進化と未来**」（河出新書 2023）が面白かった。



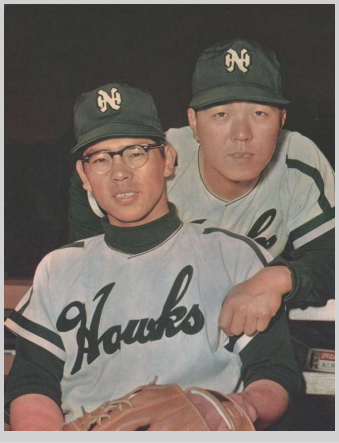
「文芸教育」129 号（2023）拙稿および同年６月の《相補》についての実践研のレジュメで引用した福岡伸一の「動的平衡」論はじめ、今西錦司の「棲み分け」論等に触れられていて驚くと同時に的外れでなかったと安堵した次第。私には荷が重いとスルーした西田哲学についても「あいだ」「見立て」でわかりやすく整理されている。西郷文芸学の〈ないまぜ〉〈あわい〉と教育的認識論の《相補》理解の一助になる本だと思うので一読を。また、山極さんが多くの示唆を受けたという「希望の歴史上・下」（ルトガー・ブレグマン著　野中香方子訳　文芸春秋 2021）も併せて読むことをお勧めする。ホップスの「万人の万人対する戦争」やトランプの「大富豪トランプのでっかく考えて、でっかく儲けろ」（徳間書店 2008）とは対極の人間観世界観が展開されている。

10 月末に目黒区の小学校に通う孫娘の運動会観戦に出かける。パパママ＋ジジババ４人+孫の叔母（ママの.妹）の計７名。受付名簿には７個の〇印がついた。学年 60 名くらいの規模なので午前中で終了。プログラムの色で応援席の前列、後列の入れ替え制も。１年生のときは、男女混合の徒競走で１等になれなくて途中棄権で泣き出した孫娘だったが、無事完走。そ

の上、リレー選手アンカーに選ばれて快走。（娘の小学校の頃の走るフォームにそっくりとはカミさんの評）応援席は大喝采。

🎥神代植物公園の秋バラを観に行く。ついでに人気の蕎麦店・湧水で新蕎麦を２枚啜る。深大寺界隈に蕎麦店が多いのは寺と水との関係だ。調布市は「東洋のハリウッド」と言われ映画の街としても知られる。角川大映スタジオや日活調布撮影所のほか約 40 社の映画・映像関連の企業が集まっている。現像に大量の水を使ったので国分寺崖線（はけ）が通る調布が適していたとか。また郊外に出ると田園風景が広がり時代劇のロケにも都合がよかったとのこと。学生時代三船独立プロの映画エキストラのアルバイトをしたことがある。幕末の勤皇方のその他大勢の一兵卒役だった。待ち時間が多く、弁当付きで楽なバイトだった。バイトにまつわる話はいくつもある。今では観光スポットになっている横浜レンガ倉庫の片隅で輸入ポルノ雑誌の墨塗りのバイトもやったっけ――。玉葱と油性マジックの強烈な臭いと仕事内容で惨めな思いをしたこともある。嗅覚の思い出は強烈でいつまでも記憶に残っている。「川とノリオ」の〈馬たちのかいばのすえたにおい。〉〈草いきれのひどいかり草の上で〉の描写は嗅覚に訴えるリアリティーのある表現だ。楽で日給のいいバイトを求めて得たのが調布市の隣府中市の学校警備員宿直のバイトだった。それも警備会社の雇止めで 20 名弱全員クビになり、直接の雇用主・府中市を相手取って市役所に座り込みをしたり、勤務校での就労闘争をしたりして闘った。「止めてくれるなおっかさん、背なの銀杏が泣いている」の団塊・全共闘世代は猪突猛進、「前へ!」と進むのだ。役目とはいえ当該校の管理職には酷い仕打ちを受けた。闘争をリードしたのは司法試験を目指していたバイト仲間の M だった。彼はその後人権派弁護士として活動している。70 年代初め、仕送り 2 万円＋奨学金３千円。３畳６千円の家賃に光熱費、風呂代、１日２食の食費、あとはバイトで稼ぐしかない貧乏学生ゆえのほろ苦い思い出である。

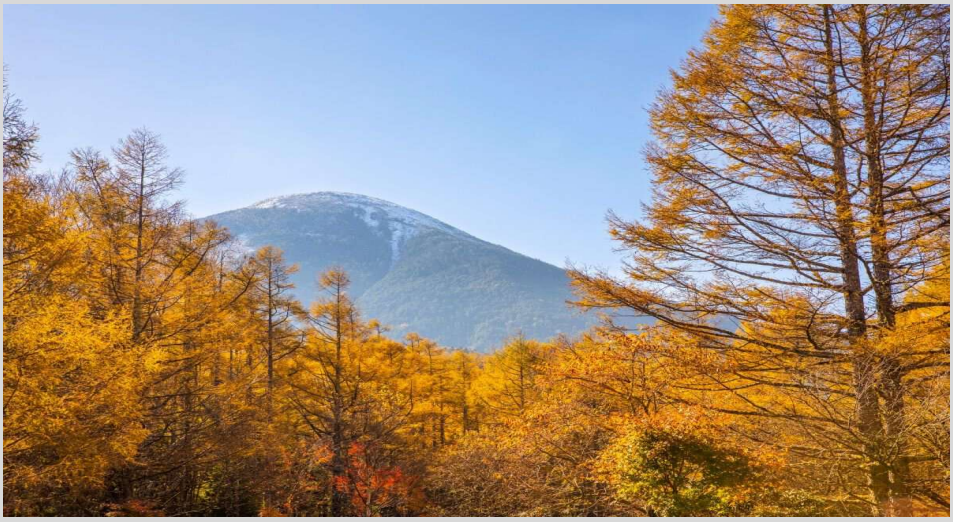
🥎「ホークス無敵　鉄壁　日本一！」の見出しが躍る 29 日の朝刊。九州の皆さん、福岡サークルの皆さん、優勝おめでとうございます！　南海→ダイエー→ソフトバンクで 13 度目の優勝（西鉄→…→西武と並ぶ。巨人は 22 回で断トツ）1，2，３戦とも延長での決着でテレビ観戦でも心底疲れた。主軸の近藤・栗原が不発でも、庄子・山川・川村・正木・牧原・イヒネ・山本祐と日替わりでヒーローが現れる強さ。野球小僧だった小 4 のときの対巨人戦日本シリーズ、杉浦４連投４連勝からのホークスファンにとってはうれしい限り。（写真は杉浦―野村の黄金バッテリー。お二人とも鬼籍の人となった。今のユニホームより濃緑の太いラインの Hawks のユニホームが今でも好きだ。）



🍂紅葉の季節、高尾山にもクマが出たとのことでクマとの遭遇が怖くて日光や奥多摩歩きは自重して、娘の案内で「あずさ」に乗って信州蓼科に今年も行く。（♫8 時ちょうどの　あずさに乗って　私は私はあなたから　旅立ちます～／今は〈8 時ちょうど〉は「あずさ２号」

ではなく５号）途中車窓から初冠雪の富士山も見ることができた。小渕沢で途中下車して井筒屋で鰻（竹めし）を銘酒・七賢でいただく。茅野からビーナスラインに入ると紅葉は今が盛り。昨年も泊まった岩波文庫はじめ蔵書が自慢の親湯温泉宿へ。大きな薪ストーブの前、本と温泉と料理と酒と――この日ばかりは血糖値もヘモグロビンＡ1ｃも忘れて――「おじいちゃんの　ごくらく　ごくらく」（長谷川義史）の秋日。

白樺高原（蓼科山）の紅葉



2026 明星学園公開研究会

★テーマ　子どもが“動き出す”“考えはじめる”授業づくり

★11 月 21 日(土)8:45～16:30　受付開始 8:00

★公開授業　算数　社会　体育　美術・木工

1校時　8:50～9:35　「かけ算」他
2校時　9:50～10:35「分数のかけ算」他

★全体会　講演：内田伸子さん（環太平洋大学教授　お茶の水女子大名誉教授　発達心理学　認知科学　保育学　／NHK「おかあさんといっしょ」番組開発他　著書「発達の心理」「想像力」他）

10:50～12:30（いちょうのホール）

★分科会　算数　社会　体育　美術・木工（今年は国語分科会はありません）

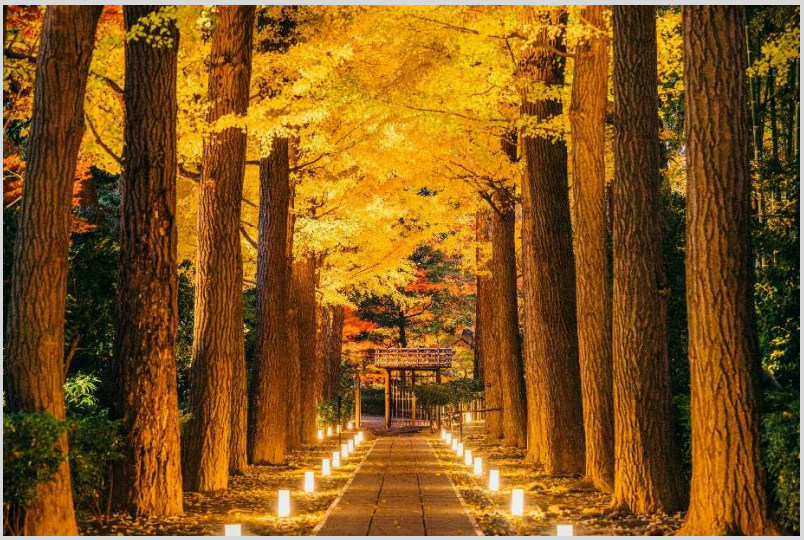
13:30～16:30

会場　明星学園小・中学校井の頭キャンパス　〒181-0001 三鷹市井の頭 5-7-7

アクセス　「吉祥寺」駅より井の頭公園を横切って徒歩 15 分
京王井の頭線「井の頭公園」駅より徒歩 10 分

※申し込み等の詳細は明星学園小学校 HP をご覧ください。





都心はこれからが紅葉の季節。花の季節もそうだが近くの公園や寺院を散歩がてら訪れるのが楽しみである。善福寺川緑地を横切り、角川庭園、荻外荘（てきがいそう）を巡って毎年足を運ぶ荻窪駅近くの大黒田庭園。ライトアップで紅葉が映える。（大黒田公園）

【文芸研東京学習会（BMS）連絡先】上西信夫　→nobu.uenishi@outlook.jp

例会で取り扱う教材希望がありましたらメールでご連絡ください